

# 花王のサステナビリティの考え方

【2,14,15,18,19,24,26,34-37,42,43,45,48,56】

花王は2013年にサステナビリティに関する方針「花王サステナビリティステートメント」を発表しました。事業活動を通じた社会のサステナビリティへの貢献という方向性を明確にし、活動を注力する領域として「エコロジー」「コミュニティ」「カルチャー」の3つを重点領域として選定しています。

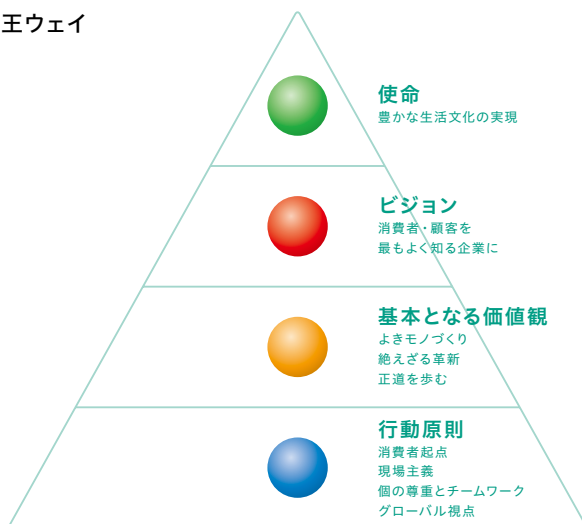
## サステナビリティ活動を支える理念： 花王ウェイと花王サステナビリティステートメント

企業理念である花王ウェイの“よきモノづくり”が花王のサステナビリティ活動の原点です。花王ウェイでは「心をこめた“よきモノづくり”を行ない、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティに貢献すること」を花王の使命としています。この使命のもと、私たちは全員の熱意と力を合わせ、清潔で美しく健やかな暮らし

に役立つ商品と、産業界の発展に寄与する工業用製品の分野において、消費者・顧客と共に感動を分かち合う価値ある商品とブランドを提供していくことを宣言しています。

これらに基づき、社会のサステナビリティへの貢献に向けた花王としての考え方、取り組むべき重点領域を明確にしたのが花王サステナビリティステートメントです。

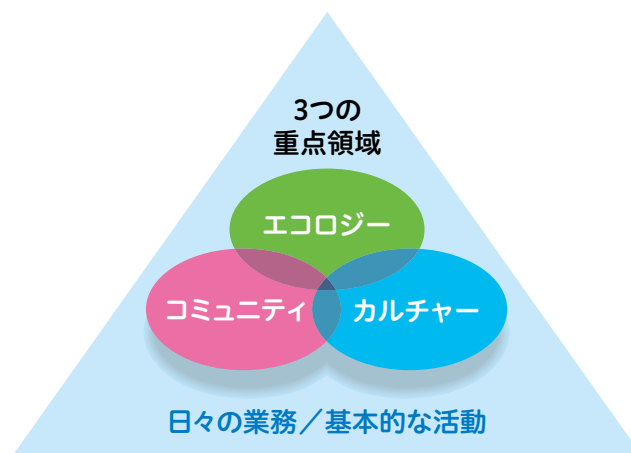
### 花王ウェイ



→詳細は「花王ウェイ」

<http://www.kao.com/group/ja/group/kaoway.html>

### 花王サステナビリティステートメント



## 花王サステナビリティステートメント

花王グループは、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、  
 社会のサステナビリティ(持続可能性)に貢献することを使命としています。  
 現在および未来において、革新的な製品やサービスを開発することで環境の保全や社会的課題の解決に努め、  
 積極的にコミュニティに関わり、人々の健やかな暮らしに貢献します。

これらを実現するために、私たちは、この活動を支える社員一人ひとりに、  
 能力を最大限に発揮できる場を提供し、ステークホルダーとともに健全な企業文化を構築します。

私たちは、社会に対する責任を果たし、持続可能な形で事業活動を発展させるために、  
 「エコロジー」「コミュニティ」「カルチャー」に注力してまいります。

## 3つの重点領域と取り組むべき分野

### エコロジー

私たちは、環境宣言のもと、事業活動による環境負荷の低減を図るとともに、生物多様性に配慮し、社会全体と連携した環境活動を展開し、地球環境保全に努めます。

#### 事業活動による環境負荷の低減

私たちは、原材料調達や生産、物流、販売、使用、廃棄など、製品がかかわるライフサイクル全般にわたって、事業活動における環境負荷を把握し、その低減を図ります。

#### ステークホルダーと連携した環境活動

私たちは、お客さま、ビジネスパートナー、社会と“いっしょにeco”をテーマにした環境活動を広く行なっています。

### コミュニティ

私たちは、事業活動や社会的活動を通じて、世界のコミュニティの課題の解決に貢献していきます。

#### 事業を通じたコミュニティへの積極的な関わり

私たちは高齢化・健康、衛生等の社会の課題の解決にむけ、人々に健やかな暮らしを提案する製品を提供することで消費者とのきずなを築いていきます。

#### 社会的活動を通じたコミュニティとのパートナーシップ

私たちは、地域の人々により良い暮らしをもたらすことに社会といっしょに取り組めます。また社員のボランティア精神の醸成を促進し、それぞれの社員がコミュニティと関わることを支援していきます。

### カルチャー

花王のサステナビリティ活動を実行していくために最も大切な資源は人です。私たちは、ビジネスパートナーと共に誠実な事業活動を行ない、社員の多様性を尊重し、常に製品と仕事の改善・改革を推進し、社会に新たな価値をもたらします。

#### 健全な事業活動

私たちは、創業者から受け継がれた「正道を歩む」の精神を大切にしながら日々の業務に取り組むことで、グローバル社会で信頼を獲得することを目指します。そのために、経営者から全従業員および社外のビジネスパートナーにいたるまで、健全な事業活動を促進していきます。

#### ダイバーシティ&インクルージョン

多様な社員一人ひとりを尊重し、全員の能力と熱意を最大限に発揮できる風土をつくります。

## 社会的課題と花王のアプローチ

花王は、事業活動を通じた社会のサステナビリティへの貢献をより効果的に推進していくため、取り組むべき課題をさらに明確に絞り込む議論を進めています。

### 1. これまでの経緯

花王は2013年に策定した花王サステナビリティステートメントにおいて、「エコロジー」「コミュニティ」「カルチャー」を3つの重点領域に定めていますが、社内外の環境変化や社会的課題の変化を踏まえ、取り組むべき課題をさらに絞り込むため、議論を進めています。

### 2. 花王をとりまく状況

花王では、2017年から新たな中期経営計画「K20」がスタートしました。K20では、長期ビジョンの実現に向け、社会的課題の解決へさらなる貢献をめざしていくことを明確に示しています。

一方、社会では2015年に、温暖化対策の世界的枠組みであるパリ協定や、世界の課題に対してグローバル社会全体で取り組む目標としてSDGsが採択されるなどサステナビリティに関連する重要な国際的合意がなされ、新たな目標に向かい、世界中でさまざまな取り組みがスタートしています。また、日本では実効的なコーポレートガバナンスの実現のための主要な原則を取りまとめた「コーポレートガバナンス・コード」の適用が開始されるなど、健全な企業運営の重要度も高まっています。

### 3. 課題の分析

課題の絞り込みにあたっては、ISO26000(社会的責任に関する手引き)、GRI(サステナビリティ・レポート・ガイドライン)、SDGsなど、さまざまな国際的ガイドラインやフレームワークが示す社会的課題をベースに約70項目をリストアップし、花王グループの課題解決への貢献の可能性、ビジネスへの影響、花王の強みなどを踏まえ、30項目に絞り込みをしました。

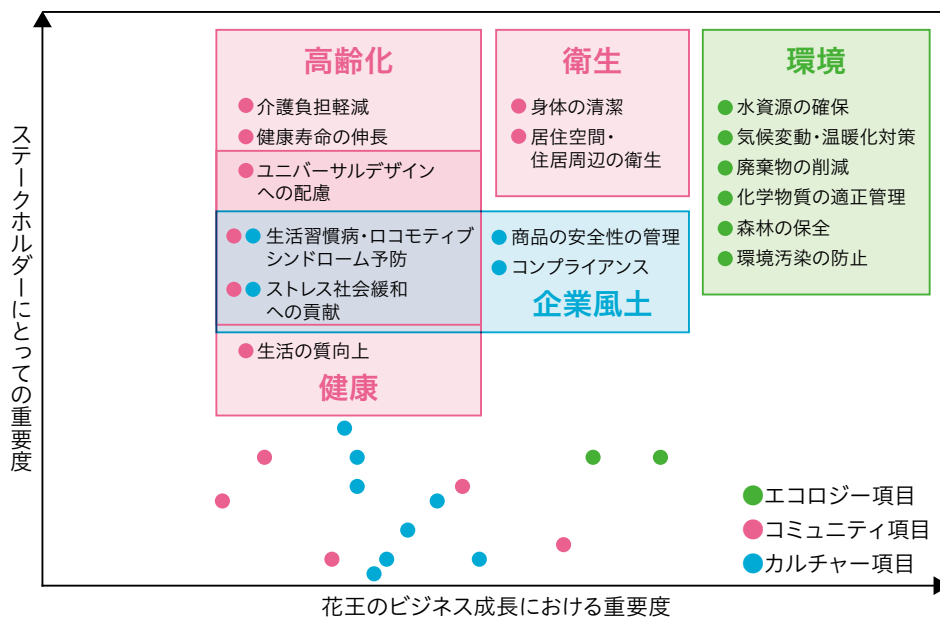
さらに、これらの項目を、事業部門、経営戦略、研究開発、購買、販売など社内の幅広い部門との議論と、事業成長やリスク管理、環境・社会面を踏まえ、「ステークホルダーにとっての重要度」と「花王のビジネス成長における重要度」の2軸で整理しました。

### 4. 社内関連部門での議論

整理された各課題項目やその位置づけ、さらには社内外の環境変化、サステナビリティ委員会などでの議論を通じ、「環境」「健康」「高齢化」「衛生」の4つの社会的課題が花王グループが取り組むべき重要課題であると確認されました。また、社会的課題解決の推進を支える「企業風土」の醸成も、重要な課題として確認しています。

花王サステナビリティステートメントの重点領域において、「環境」はエコロジー、「健康」「高齢化」「衛生」はコミュニティ、「企業風土」はカルチャーに対応しています。

#### 重要項目マトリックス



## 事業活動を通じたSDGsへの貢献

2015年、国連総会で、国際社会が社会課題の解決に向け取り組むことをめざすSDGs(持続可能な開発目標)が掲げられました。この17の項目からなる目標は、企業を含むすべての組織においてその達成に向けた行動が要請されており、花王グループもサステナビリティへの取り組みを通じて目標の達成に寄与していきたいと考えています。

特に、花王サステナビリティステートメントの重点領域に対応する3、5、6、12、13、16の目標に対して、花王グループの事業活動がどのような影響を与え、どのような寄与ができるのかを明確にし、取り組みを進めていきます。

### 事業活動を通じたSDGsへの貢献

花王が注力すべき  
4つの社会的課題

花王サステナビリティステートメント  
3つの重点領域

寄与するSDGs目標



地球環境  
への貢献

#### エコロジー

- ・事業活動による環境負荷の低減
- ・ステークホルダーと連携した環境活動



健康領域  
での貢献



高齢化社会  
への対応



衛生領域  
での貢献

#### コミュニティ

- ・事業を通じたコミュニティとの積極的な関わり
- ・社会的活動を通じたコミュニティとのパートナーシップ



#### カルチャー

- ・健全な事業活動
- ・ダイバーシティ& インクルージョン



## サステナビリティ推進体制

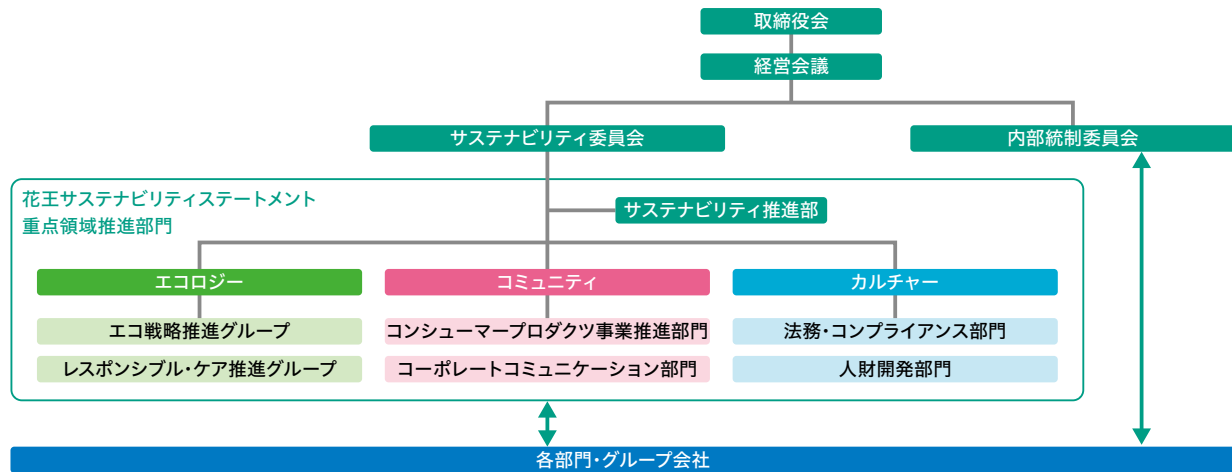
代表取締役 社長執行役員を委員長とするサステナビリティ委員会を設置して、花王グループのサステナビリティに関する活動の方向性を定めて推進しています。委員会では、必要に応じて体制の整備や推進計画の策定・更新を行ない、定期的にそれらを評価することで、グループ全体の活動も向上させています。

2016年のサステナビリティ委員会は、1月、4月、8月、11月に計4回開催しました。代表取締役3人に加え、研究開発部門、SCM部門、人財開発部門、品質保証本部、国際事業統括部門、

会計財務部門、コーポレートコミュニケーション部門、経営サポート部門の各執行役員も委員として出席し、最適な花王グループのサステナビリティ方針・戦略および取り組みについて討議を行なうとともに、推進計画の実行状況を確認しました。

3つの重点領域においては、それぞれの担当部門が責任を持って、目標を設定し、PDCAサイクルの運用により、グループ全体の活動をマネジメントしています。

### 重点領域活動の推進体制



## 社員への啓発

花王サステナビリティステートメントに基づいた活動を進めるためには、グループ社員全員がその考え方を十分に理解する必要があります。そのために2013年の花王サステナビリティステートメント発表以来、さまざまなアプローチで社員への啓発活動を行なっています。

2013年から、イントラネット上でサステナビリティの考え方や関連情報を発信しており、2015年からは国内外すべてのグループ会社で閲覧が可能となりました。グローバル一体となったサステナビリティ活動推進に向けた土台づくりのため、情報共有を進めています。

### イントラネット上での啓発

イントラネットに、花王サステナビリティステートメントの理解を助ける情報を掲載しています。

各部門のリーダーにサステナビリティについての考えを寄稿してもらった「サステナビリティリレーエッセイ」を年4回、サステナビリティに関連する社会動向や自社他社の取り組みをわかりやすく紹介する「サステナ3分ウォッチング」を毎月、掲載しています。

これらは、海外グループ会社のイントラネットでも、日本と同じ情報を英語で同時掲載しています。

### 人事部門主催の研修を通じた啓発

花王のサステナビリティの考え方は、日々の業務を行なう上で周知しておかななくてはならない事項であるとの認識から、人事部門が主催する各種研修のプログラムにサステナビリティの単元を組み込んでいます。

2014年より、海外へ赴任する前の海外トップマネジメント研修で、サステナビリティの講義を実施しています。2016年までに11人が個別に受講しました。

さらに2016年より、新入社員導入時研修および中途入社社員向けのキャリア研修のプログラムで、サステナビリティの講義を実施しています。新入社員導入時研修では、日本のグループ会社

の4月入社社員498人が受講しました。キャリア研修は年2回実施し、10月には78人、2017年2月には13人が参加しました。

また、海外グループ会社へ入社する社員向けのグローバル入社オリエンテーションプログラムにも、サステナビリティの考え方に関するコンテンツが組み込まれています。

### 社内報での紹介

花王グループの全社員向けに日本語・英語併記で年4回発行している社内報「KAO FAMILY」で、社員の花王サステナビリティステートメントの理解に役立つ記事を掲載しています。

2013年のステートメント発表直後には、策定の背景や詳細内容の特集。2014年から毎年継続し、2016年も3つの重点領域での具体的な活動事例を紹介しました。今後も継続して紹介していきます。



社内報「KAO FAMILY」での紹介



## ステークホルダーコミュニケーション

花王はステークホルダーとの対話を通じて社会の要請を収集し、活動内容と目標の策定に反映しています。

